



RNAの自己組織化を利用した新規遺伝子ノックダウン方法
ウロボロス型 RNA を用いた複数遺伝子同時ノックダウン法

技術分野分類 5305：生体関連化学

技術キーワード (1)：核酸関連化学 RNA干渉、RNA工学

産業分類 E-16：化学工業

内 容	概要	二本以上のヘテロな一本鎖 RNA をアニーリングさせ、RNA 干渉作用を誘導する二重鎖部分 2 か所以上形成するようなウロボロス型偽環状構造 RNA を用いた複数遺伝子同時ノックダウン方法
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	従来の RNA 干渉に関する基本特許に抵触しない設計になっています。2 本の RNA を設計してアニーリングするだけで、2 遺伝子を同時にノックダウンすることのできる偽環状 RNA が調製できます (RNA の設計により、2 遺伝子以上も同時にノックダウンできます。)
	本技術の有用性	<ul style="list-style-type: none"> 偽環状構造 RNA を RNA 干渉に応用する 複数遺伝子の同時ノックダウンが可能である 調製が簡単 (環状形成の際にリガーゼ不要、等)
関連情報 (図・表・写真等)	<p>ウロボロス型RNAを用いた複数遺伝子同時ノックダウン法の概要</p>	
適用可能製品	<ul style="list-style-type: none"> RNA 医薬 研究用試薬 	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	梅影 創 大学院工学研究科 環境・生命工学専攻 講師
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	研究推進アドミニストレーションセンター 0532-44-6975/0532-44-6980 tut-sangaku@office.tut.ac.jp

■知的財産 偽環状二重鎖ポリヌクレオチドと、それを用いた遺伝子発現阻害剤
PCT/JP2017/003837

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2018 年 1 月 15 日